eVOLUTION®

www.evolutionpowertools.com

FURY® WITH RAGE® TECHNOLOGY

STEALTH 185®

Original Instructions

JP

Date Published: 01 / 03 / 2015

目次

製品仕様	3
表示・図記号	4
振動	5
用途	5
禁止用途	5
安全上のご注意	5
電気的安全性	5
屋外で使用するとき	6
一般安全規則	8
安全上のご注意補足	9
さあ、始めよう	11
開梱	11
各部の名称	11
組立と準備	13
保守と点検	18
環境負荷低減のために	18

仕様	
切断能力	
角パイプ（ブレード角度90度）	肉厚3mmまで　　最大寸法60mm
角パイプ（ブレード角度45度）	肉厚3mmまで　　最大寸法40mm
軟鋼板	最大厚み3mmまで
最大切り込み深さ	
ブレード角度90度	60mm
ブレード角度45度	40mm
本体	
モーター消費電力（100V 50/60Hz）	1200W
無負荷速度	3700min^{-1}
質量	5.4kg
ブレード	
外径	190mm
穴径	20mm
歯数	16
最大回転数	3900min^{-1}
刃厚	1.7mm
騒音および振動データ	
音圧　LPA	96.8 dB (A) K = 3 dB(A)
音響出力レベル　LWA	107.8 dB (A) K = 3 dB(A)
振動レベル	2.048 m/s^2 K = 1.5m/s^2

(1.7)
振動

警告：振動工具を使用する作業者は、手腕を介して伝わる高レベルの振動に長時間曝され続けると、手指白指症状（レイノー現象）が出現する場合があります。症状としては、手指にしびれや冷感、感覚の鈍化がおこります。振動工具を長時間頻繁に使用する場合は、手指の症状に注意し、疑わしいときは、速やかに医師の診断を受けてください。

a. 実際に作業中に受ける振動レベルは、切断する材料の硬さや固定している状態、電動工具の整備状態や刃物の切れ味などにより変わります。用途や状況に応じて判断し、振動の軽減をはかってください。

b. 作業現場における測定および判断は、BS EN ISO 5349-1:2001およびBS EN ISO 5349-2:2002に基づいています。

c. 以下に挙げることは、振動レベルの低減に役立ち、振動傷害予防に役立ちます。

取り扱い方

- 電動工具は手入れをしてください。安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 電動工具に無理な力をかけないでください。安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してく ださい。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

材料

- 切断する（表面の状態、硬さ、固定位置など）を考慮してください。

警告：実際に作業中に発生する振動レベルは、本機の使い方によって、仕様詳細に記載されている値とは異なります。実際の作業環境で予想される状況（振動の強度や作業連続時間など）に応じて、予防対策を講じてください。

(1.8)
表示・図記号

警告 銘板ラベルが読みにくくなったり剥がれている電動工具は使用しないでください。交換用ラベルが必要な場合は、当社お客様相談センターまでご連絡ください。

注記 取扱説明書または銘板ラベルには、一般的に下記の表示・図記号が使用されています。

表示・図記号	説明
V	電圧（ボルト）
A	電流（アンペア）
Hz	周波数（ヘルツ）
Min^{-1}	回転速度
~	交流電流
n_o	無負荷速度
	保護メガネを着用すること
	防音用保護具を着用すること
	触れないこと 手を近づけないこと
	防塵マスクを着用すること
CE	CE認証
	WEEE 廃棄物指令準拠
	使用前に取扱説明書を読むこと
	警告
	二重絶縁

(1.10) 用途

警告：本機は、万能切断スライドマルノコです。エボリューション純正刃物（専用チップソー）をお使いください。専用ダイヤモンドホイール（別売）に刃を付け替えていただくと、タイル材・石材などの切断も行えます。

万能切断チップソーで多種材を切断できます。

軟鋼
アルミ
木材

(1.13) 警告: この製品はあるいは安全の責任者により機器の使用に関して監督が行われない限り、経験や知識が不足している方による使用は意図されておりません。

子供の手の届くところに本製品を置かないでください。

(1.14) 電気的安全性

本機には、販売される国内での使用に適合するプラグと電源コードが使われています。電源コードやプラグの修理・交換は、お買い上げの販売店にご相談ください。

(1.15)屋外で使用時のご注意

警告：電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。電動工具を湿気の多い場所に置かないでください。明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。湿った場所で電動工具を使用する場合は、定格感度電流 30 mA 以下の漏電遮断器 (RCD) で保

護された電源を使用してください。RCDを使用すると、感電の危険が減少します。

屋外でのご使用には、用途に適した延長コードをご使用ください。キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用 してください。

(2.1)電動工具全般
安全上のご注意

警告：火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってくだ さい。

ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、使用してください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

次に示す安全上の注意事項における「電動工具」という用語は、電源式（コード付き）電動工具または電池式（コードレス）電動工具を示します。

(2.2) 1. 一般安全規則
[作業場]
a. 作業場は整理整頓して、十分な照明を確保してください。
散らかった暗い場所は事故を招く恐れがあります。
b. 爆発を誘発することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんのあるところでは、電動工具を使用しないでください。
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させることがある火花を発生する場合があります。
c. 電動工具の使用中は、子どもおよび第三者を近づけないでください。
注意が散漫になって、操作に集中できなくなる場合があります。

(2.3) 一般安全規則
[電気的安全性]
a. 電動工具の電源プラグは、コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造しないでください。アダプタプラグを設した電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクは軽減されます。
b. パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの設置されたものと身体の接触をさけてください。身体が設置された場合は、感電のリスクが増大します。
c. 電動工具は、雨または湿気がある状態にさらさないでください。電動工具に水が入ると、感電のリスクが増大します。
d. コードを乱暴に扱わないでください。
電動工具を移動させたり、引っ張ったり、または電源プラグを抜くためにコードを利用しないでください。コードは、熱、油、角のとがったところ、または動くものから離しておいてください。コードが損傷すると、感電のリスクが増大します。
e. 電動工具を屋外で使用するときは、屋外の使用に適した延長コードを使用してください。屋外の使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
f. 湿った場所で電動工具を使用する場合は、漏電遮断器 (RCD) で保護された電源を使用してください。RCDを使用すると、感電の危険が減少します。

(2.4) 3. 一般安全規則
[人的安全性]
a. 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているのかに注意し疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいるときは、電動工具を使用しないでください。一瞬の不注意が重大な人身事故につながります。
b. 安全保護具を使用してください。常時、保護メガネを装着してください。適切な状態で防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメットまたは耳栓などの安全保護具を使用することで、人身事故が低減されます。
c.不意な始動は避けてください。電源プラグを差し込む前に、スイッチがオフの位置にあることを確認してください。指をスイッチにかけて電動工具を運んだり、またはスイッチの位置がオンになっている電動工具のプラグを電源コンセントに差し込むと、事故を招くおそれがあります。
d. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチをはずしてください。電動工具の回転部分にレンチまたはキーをつけたままにしておくと、人身事故を招くおそれがあります。
e. 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場とバランスを維持してください。これによって、予期しない状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
f. きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服や装飾品は身につけないでください。髪、服および手袋を回転部に近づけないでください。だぶだぶの服、装飾品または長髪は、回転部に巻き込まれる場合があります。
g. 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。

(2.5) 4. 一般安全規則
[電動工具の使用および手入れ]
a. 電動工具を無理に使用しないでください。用途に合った正しい電動工具を使用してください。より安全かつ快適に作業ができます。
b.スイッチで始動および停止操作のできない場合、その電動工具は使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険ですので、修理を依頼してください。
c. 調整を行う前、付属品を交換する前、または電動工具を保管する前には、電源プラグをコンセントからぬくか、電動工具からバッテリーをはずしてください。このような予防的安全手段によって、電動工具を不意に始動させるリスクが低減されます。
d. 使用しない電動工具は、子どもの手の届かないところに保管し、電動工具に不慣れな人や取扱説明書を読んでいない人には電動工具を使用させないでください。電動後部を扱いなれていない人に渡すと危険です。
e. 電動工具の保守・点検を行ってください。電動工具の動作に影響のある可動部分の芯ずれや癒着、部品の破損およびその他の状態を点検してください。異常がある場合は、使用する前に修理を受けてください。電動工具の保守が不十分であることが、多くの事故の原因となります。
f. 刃物類は、鋭利かつ清潔に保ってください。刃物類を適切に手入れして切れ味をよくしておけば、作業の円滑さを失うことなく、操作も容易になります。
g. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具、刃物類などは、作業条件および実施する作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使用する電動工具に合うように使用してください。
意図された作業と異なることに電動工具を使用すると、危険を招く恐れがあります。

(2.6) 5) 5.一般安全規則
[整備]
a. 電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が適切な交換部品だけを用いて行ってください。電動工具の安全性を維持することができます。

(2.7) 健康被害に関するご注意

警告：マルノコを使う切断作業では粉塵がでます。切断する材料によっては、有害性の粉塵が発生することがあります。作業時には、集じん機の使用およびフィルタ交換可能のフェイスマスク着用をおすすめします。

家屋の壁面などに使われている塗料に鉛が含まれている懸念がある場合は、自分で剥がそうとせずに、専門家に依頼してください。

塗料の粉じんが手や衣服に付着した場合に、誤って鉛成分が口から体内に入る恐れがあります。たとえ少量であっても神経障害の原因となることがあります。小さな子どもや胎児は特に影響を受けやすいので十分注意が必要です。

有毒な化学物質にさらされないようにするには
- 十分に換気した作業場で作業してください。
- 微細粒子を通さないように設計された防じんマスクなど、認定を受けた保護具を着用してください。

(2.8)警告：作業中は、切断片などの異物から眼を守るために、必ず保護メガネまたはフェイスシールドを使用してください。

(3.0) 本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、丸ノコとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

a) 危険：ブレードや切断している周辺には手や顔を近づけないでください。マルノコは必ず両手でしっかりと保持してください。回転するブレードに人体が触れると重大なけがの原因になります。本機を両手で保持することで、ブレードで手を切る恐れが軽減されます。
b) 切断する材料の下には手を入れないでください。材料の下はブレードカバーで保護されないため、けがの原因になります。
c) 使用前に切り込み深さを材料にあわせて調整してください。材料の下から刃底が見えないように（材料の下から刃先が見えるが、刃がすべてむき出しではない状態、3mm程度）調整してください。
d)切断する材料は必ず安定性のよい台に固定してください。材料を手で持ったり足で押さえたりしないでください。刃物への手足の露出や、材料に刃が挟まって強い反発力（キックバック）を防ぐには、材料を適切に固定することが大切です。
e) 絶縁されたハンドルだけを握ってください。切断部分の近くに隠れた電気配線などがあるときは、刃が配線に接触しないように十分気をつけてください。作業中はブレードで電源コードを損傷することがないように、常にコードの位置に注意してください。本機の金属部に通電して感電する恐れがあり危険です。
f) 縦に切断（縦引き、縦切り）するときには、平行定規（リップフェンス）を使用してください。精度が向上し、ブレードの噛むことが低減されます。

g) サイズ・取付け穴の形状が本機に合う指定専用ブレードを使用してください。本機の取付金具に合わないブレードは、偏心（回転軸のぶれ）による制御不能を招く恐れがあります。
h) ブレードの取り付けは、指定の部品（指定のフランジ、ワッシャーやボルト）を用いて確実に取り付けてください。損傷のない正しい部品は、本機の性能や安全を引き出すよう、最適に設計されています。
i) 高速鋼(HSS、ハイス)ブレードは使用しないでください。
j)使用前に本機およびブレードの状態を点検してください。変形、亀裂、磨耗、損傷箇所のあるブレードは使用しないでください。
k)ブレードカバーが適切に閉じない、あるいは円滑に動かないマルノコは絶対に使用しないでください。ブレードカバーを開けた位置で固定しないでください。
l)ブレードは本書指定範囲のブレードを使用して下さい。ブレードは本機の最高回転数を満たす性能をもち、かつ切断する材料に適合したものを必ず使用して下さい。

(3.2)キックバックの原因と対策

キックバックとは、ブレードが加工材料に噛んだり偏心したときに、突然ブレードが材料からはじかれて本機がせり上がり、作業者に向かってくる現象をさします。

1. ブレードが、切断している材料の切り溝に挟まって動かなくなり、モーターの反動によって本機が作業者に向かって急激に押し返されます。
2. 切断中に、ブレードがひねられたり偏心する（回転が斜めにぶれる）と、ブレード後端の歯が材料の表面上部に食い込んで、ブレードが不意に切り溝か飛び出して作業者に向かってはね上がってきます。

(3.3)
キックバックは、マルノコを誤った手順や条件で使用した場合に発生します。以下は、キックバックによるリスクを最小限にするための注意事項です。

a) 使用時は本機を両手でしっかりと保持し、キックバック（反発力）に耐えるように腕を構えてください。また、切断線と身体の位置が一直線にならないように左右どちらか よけて位置してください。キックバックはマルノコが後方に跳ね返ってくることがある危険な現象ですが、作業者が注意事項を守ることで制御することができます。
b) ブレードが切り溝にはさまったり何らかの理由のブレードが止まった場合、スイッチを切ってブレードの回転が完全に停止するまで本機を動かさないで保持してください。ブレードがまだ回転している間は、ブレードを切り溝からはずしたり、本機を後ろに引いたりしないでください。
ブレードが動いている間に切断方向以外に本機を動かすと、キックバックが起こる恐れがあります。ブレードが完全に停止してから、ブレードがはさまった原因の確認と対処をしてください。
c) ブレードが材料の中にある状態から再始動するときには、ブレードが材料と噛みあっていないことを確認してください。ブレードが噛みあっていると、本機を再始動したときにキックバックがおこります。
d) 幅広材を切断するときは、材料が安定するように支持して固定することで、ブレードが挟まったり、キックバックが発生する危険性を抑えることができます。
面積の広い材料は自重でたわみやすいため、材料の両端と切断部分を支えることで、キックバック発生を防ぎます。

e) ブレード（チップソー）になどの異常がないことを確認してから使用してください。切れ味の悪いブレードは使用しないでください。切れ味の悪い刃や確実に取り付けられていない刃は、切り溝が狭くなったり、過度な摩擦やキックバックが起こる原因になります。

f) 損傷や磨耗の激しいブレードは使用しないでください。切れ味の悪い刃や確実に取り付けられていない刃をつかうと、切り口（切り溝）が狭くなり、摩擦でブレードが材料にはさまれ、キックバックを招きます。

g) 壁のように裏側がみえない箇所などにプランジカット（ブレードを押し下げながら板の途中から切断する方法）を行うときは、特に注意してください。裏側に突き出たブレードが、キックバックを招くものに触れる恐れがあります。

ブレードカバーに関する注意事項

※ブレードカバーは絶対に固定したり、取り外したりしないでください。ブレードが露出した状態では、けがの原因になります。

a)毎回使用前に、ブレードカバーが正常どおり閉じることを確認してください。ブレードカバーが円滑に動かない、または瞬間に閉まらないときは、本機を使用しないでください。

b) 使用前に切り込み深さ、傾斜角度を調整し、固定レバーを確実に締めてください。調整後に、刃に触れないように気をつけながら手でブレードカバーを開け閉めして、ブレードカバーが本機部品の一部に接触することなく正常かつ円滑に動くことを確かめてください。

c) ブレードカバーのバネの動きを点検してください。もしブレードカバーとバネが正しく動作しないときは、ご使用前に修理をお申し付けください。
部品の損傷や粘着物、切りくずの体積などが原因で、ブレードカバーの動きが悪くなることがあります。

d) ブレードカバーは、プランジカットや複合切断など特定の切断を行うとき以外は、手動で操作しないでください。材料との位置関係でブレードカバーが自動的に開かない場合だけ、ブレードカバーを開くレバーを使って最小限引き上げてください。ブレードが材料に入ったらすぐにレバーを放してください。それ以外の作業ではブレードカバーを手動で操作しないことで、ブレードへの接触の恐れを低減できます。

e) 丸ノコを作業台や床面などに置くときには、ブレードが停止してブレードカバーで覆われていることを確認してください。スイッチを切った後もブレードは惰性でしばらく回り続けます。確認を怠ると、惰性で回転するむき出しの刃が丸ノコを動かし、本機は後ろに走り、途中にあるものすべてを切断する恐れがあります。

(3.4)
警告！本機の部品が損傷、不足している場合は、必ず修理・交換してから使用して下さい。整備や修理を怠った場合は、重傷を招く恐れがあります。

(4.1)
さあ、始めよう – 開梱

注意：部品の中には尖った形状のものがあります。開梱時にはけがをしないようにご注意ください。

開梱後に部品数量を確認してください。付属品がすべてそろっていることを確認してください。商品に破損や異常がないことを点検してください。

万一不足している物や損傷しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

リサイクルを促進するため、開梱後の梱包・包装資材は分別処理してください。窒息の危険をさけるため、ビニール袋は子供の手の届かないところに置いてください。

(4.2)
標準付属品

- 取扱説明書
- 万能切断チップソー（取付済）
- 六角レンチ（ブレード交換用）
- 平行定規（平行ガイド

(4.3)
別売部品・アクセサリーご案内

別売部品・アクセサリー	部品番号
万能切断チップソー	FURY190
ダイヤモンドホイール	DIAMOND 185

別売部品・アクセサリーの詳細につきましては、お買い上げの販売店もしくは当社窓口までお問い合わせください。

各部の名称

1. リアハンドル
2. フロントハンドル
3. 安全カバー
4. ブレードカバー
5. ベース
6. 切粉排出口

図1

(10)さあ、はじめようー準備

警告： 調整作業を行う前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードは改造・加工・修復しないでください。

(10.1) ブレードの取り付け・取り外し

警告：エボリューションパワーツール純正刃をご使用ください。ブレードの最高回転数が本機の無負荷回転数を上回っているか確認してください。指定以外のブレードを使用すると、本機の性能が十分にひきだせないだけでなく、事故やけがの原因になります。

警告：万一の事故を防止するために、必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

材料にあったブレードを選択してください。
- 多種材には万能切断チップソー
- 石材にはダイヤモンドホイール

注) ブレードの取付け・取り外しを行うときは、保護手袋を着用してください。

切断中に刃が熱くなっていることがありますので注意してください。

- マルノコを平らで安定した場所に置きます。
- シャフトロックボタンを押し、軸が回転しないようにロックをかけます。**（図1）**

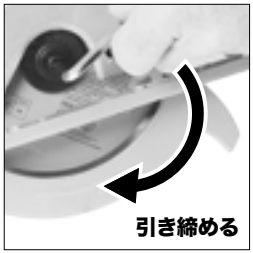

図2

図3

ポイント

シャフトロックボタンを軽く押しながらゆっくりと刃を回すとロックがかかる位置で深くボタンが入ります。このままボタンを押しながら次の手順を進め、チップソーを取り外します。

- 付属の六角レンチで中穴ネジをゆるめ、中穴ネジ、ワッシャー、アウタフランジ、チップソーの順に取り外します。**（図2）**
- フランジなどチップソー取付面についている切粉を掃除します。
- 新しいチップソーを取付けます。

ポイント

チップソー面に表示されている矢印がブレードカバー面の矢印と同じ向きであるように取付けます。**(図3参照)**

※チップの欠損又はなどの異常があるチップソーは使用しないでください。

- アウタフランジ、ワッシャー、中穴ネジの順で戻します。軸が回転しないように、 シャフトロックボタンを押しながらレンチを右回り（時計回り）に回し、中ネジを締めます。

ポイント

中穴ネジを締め付けるときは力加減にご注意ください。きつく締めすぎないようにしてください。

- シャフトロックボタンを解除し、チップソーを手で回転させて、ロックボタンが完全に解除されていることを確認します。
- ブレードカバーが円滑に動くことを点検してください。

締め付けは右回し。

平行定規（平行ガイド）

長い距離を正確にまっすぐ切断したいときや一定の幅で繰り返し切断したいとき、平行定規を利用することで材料の端と平行した切断（縦切り、リップカット）が可能です。**（図4）**

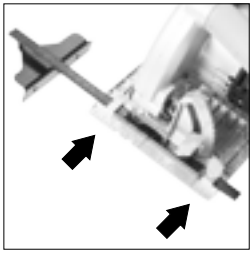

図4

※平行定規はベースの左右どちらからでも取付けられます。電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

- 平行定規をベース前方にある長方形の取付け穴に図のように差しこみます。
- 定規の側面を材料の側面にぴったりと付けて、ツマミネジをしっかり締め付けてください。

切り込み深さの調整

警告：電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

図5

ポイント

材料が薄いときや、切断面の背後に障害物が予想されるときは、切り込み深さを浅くしてお使いください。通常は一番深い位置に合わせておきます。

ベースとブレードが垂直のときには、切り込み深さ調整ブラケット面についている目盛りを目安にして設定できます。正確に調整するには、チップソーの出しろを実測してください。

- 角度調整ツマミネジがしっかりと締め付けられていることを確認します。
- 切り込み深さ調整ツマミネジ **（図5）** をゆるめて、お望みの深さにベースを上げ下げして調整してください。
- 調整後はツマミネジをしっかりと締めて下さい。

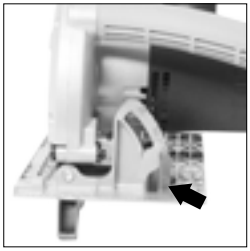

図6

傾斜角度の調整

警告：電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

- 深さ調整ツマミネジがしっかりと締め付けられていることを確認します。**(図6)**
- 角度調整ツマミネジ（図参照）をゆるめて、お望みの角度（0°～45°）に調整してください。**(図7)**
- 調整後はツマミネジをしっかりと締めて下さい。

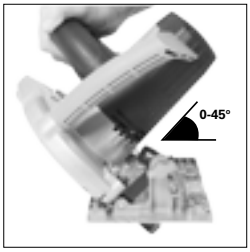

図7

(10.2) 切断作業の基本

警告： ご使用前には必ず、使用前点検を実施してください。

チェックポイント

- ブレードカバーが円滑に動く。
- ツマミネジなどの調整用ネジがすべて確実に締まっている。
- ブレード（チップソー）が正しく取付けられている。

- 材料に合ったブレード（チップソー）を選択している。
- コードに損傷箇所がない。
- 作業台や木挽き台などを利用して、切断する材料を確実に固定して作業する。

ポイント

マルノコを使用する上で、特に気をつけなければいけないことは、キックバック（回転力から生じる強い反発力）です。長尺材を切断するときには、材料がブレードを挟み込まないよう、材料端と、切断ライン付近を切り台（端材）などで支えてください。

図8

(5.4)スイッチ操作

本機は誤作動による事故防止のため、電源ON/OFFスイッチ部にはロックオフボタンが付いています。**(図8)**

警告：絶対に、材料にブレードを当てた状態からスイッチを入れないでください。 ブレードカバーは作業中に自動的に持ち上がり、作業が終わると自動的にチップソーを覆います。

(10.3)切断の要領

警告

- 作業時は、常に保護めがねを使用してください。必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、耳栓 (イヤマフ) などを着用してください。
- 作業中にブレードで電源コードを損傷することがないように、常に電源コードの位置に注意してください。

(10.4)

- 無理して使用しないでください。
- 切断中に本機をこじったり、強く押しすぎたり、バックさせて切断しないようにしてください。キックバックを受け、けがの原因になります。モーターに無理かかかるばかりでなく、ブレードの寿命を短くします。
- 平行定規を使用するときには、ブレードと平行であるように正しく取り付けてください。平行に取り付けられていない状態のまま使用すると、ブレードまたはモーター部に負荷がかかり損傷するおそれがあります。
- 左手でフロントハンドルを、右手でリアハンドルを握り、本体をしっかりと保持します。
- モーターを始動する前にまず、材料にベースの先端を乗せ、切断位置 (ケガキ線) に合わせてから、トリガースイッチを握ります。絶対に、材料にブレードを当てた状態からスイッチを入れないでください。
- ブレードの回転が安定したら、切断位置を確認しながらゆっくり切り進んでいきます。無理な力をかけないでください。
- 切り込み後は進行方向を変えることはできません。

注) ベース先端には切断位置案内溝が2箇所ついています。(ブレード傾斜角0°と45°用のみ)

- 切断または切り込みが終わったら、トリガースイッチを放してスイッチを切ります。
- チップソーの回転が完全に停止してから, マルノコを材料から離します。
- ブレードカバーが完全にチップソーを覆っていることを確認してから、マルノコを作業台など安定した場所におきます。

注意: 連続的に作業すると、モーターが過負荷状態になります。モーター部が熱くなったときは、しばらく間隔をおいてください。

(10.5)警告: 切断作業中にモーターの回転が停止する異常が発生したときには、直ちにトリガースイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。点検またはモーターを再始動するときには、マルノコを切断していた材料から一旦離してください。

(6) 保守・点検

(6.1)警告

電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

定期的に安全点検・掃除してください。
本機を分解しないでください。

ポイント・注意

- ブレードカバーが正常に機能しない場合は、必ず修理してから使用してください。
- モーター軸受部にはグリースが適量塗られています。グリースを追加する必要はありません。
- 本機のお手入れは、乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。プラスチック部分を掃除するときに、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。変色、変形、ひび割れの原因となります。
- 本機のすき間に先の尖ったものを差し込んで汚れを取ろうとしないでください。
- モーター部から余分な火花が発生するときは、モーター内が汚れているかカーボンブラシが摩耗していることが考えられます。疑わしい場合は、専門家に点検を依頼してください。

(>6.2)正常に作動しないときには、ご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店または当社窓口にお申し付けください。

(6.4) 環境負荷低減のために

本機を廃棄する際は、家庭ごみとして捨てないでください。リサイクルについては、各自治体または販売店にお問い合わせください。

EVOLUTION®

www.evolutionpowertools.com

UK
Evolution Power Tools Ltd
Venture One, Longacre Close
Holbrook Industrial Estate
Sheffield
S20 3FR

+44 (0)114 251 1022

US
Evolution Power Tools LLC
8363 Research Drive
Davenport
Iowa
52806

866-EVO-TOOL

JP
輸入・販売元
大同通商株式会社
東京都千代田区岩本町
2-11-9
イトーピア橋本ビル3F

0120-051-415

EU
Evolution Power Tools Ltd
61 Avenue Lafontaine
33560
Carbon-Blanc
Bordeaux

+ 33 (0)5 57 30 61 89

Discover Evolution Power Tools

Visit: **www.evolutionpowertools.com** or download the QR Reader App on your smart phone and scan the QR code (Right).